

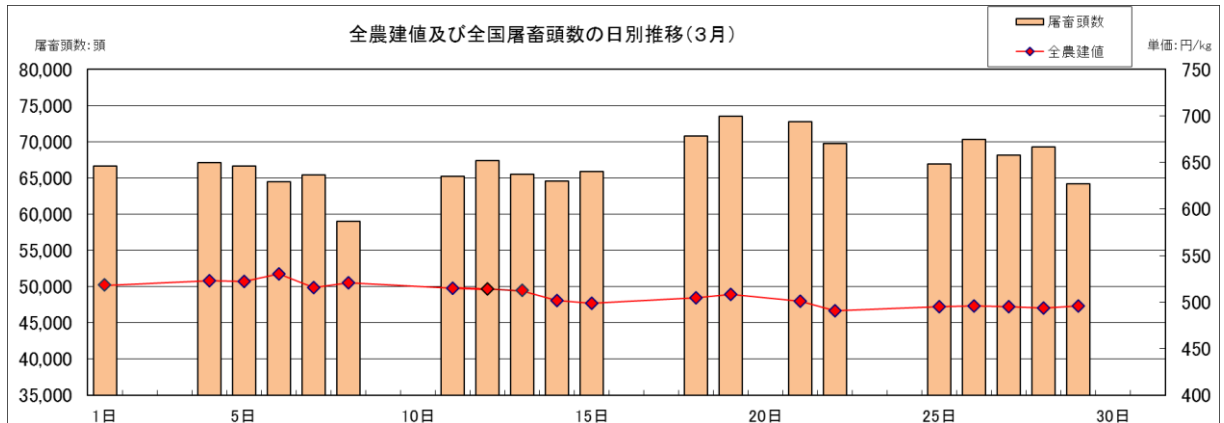
肉豚インフォメーション（3月）

●3月の動向

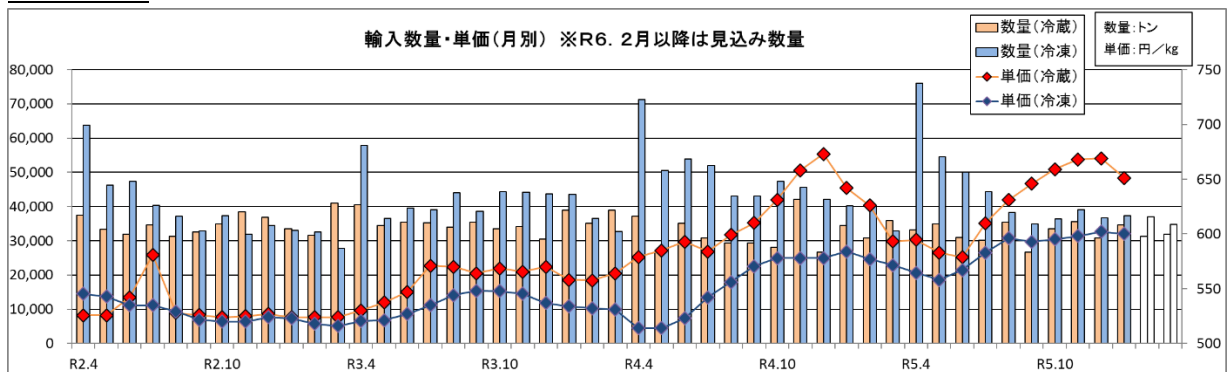
2024年3月（税抜）	2023年3月（税抜）
508 円/kg（7 円安）	515 円/kg

※全農建値

3月中旬から下旬にかけて学校給食の休止等により低調に推移した。4月後半の大型連休に向けて相場は上げ基調で推移する見込み。

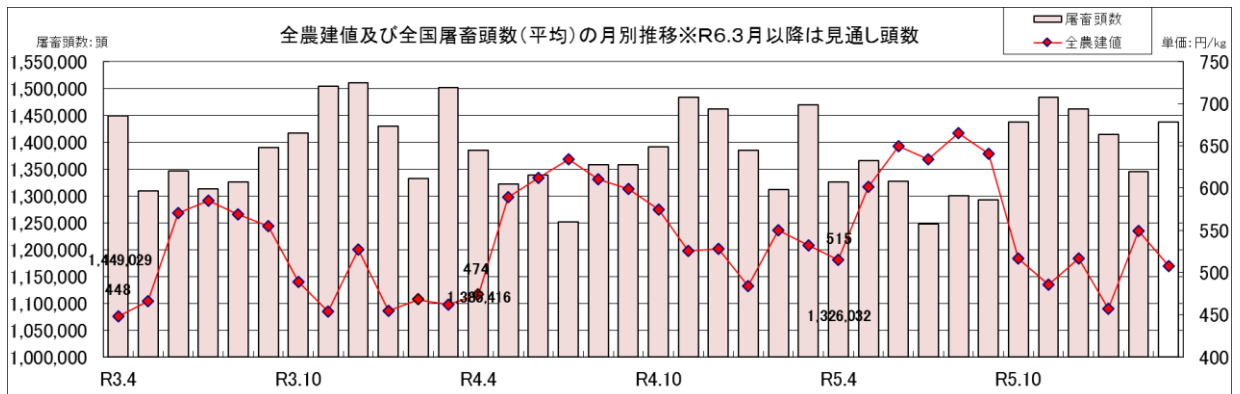


●輸入動向



●4月の動向

4月の出荷頭数は、前年同月をわずかに上回ると予測されている。



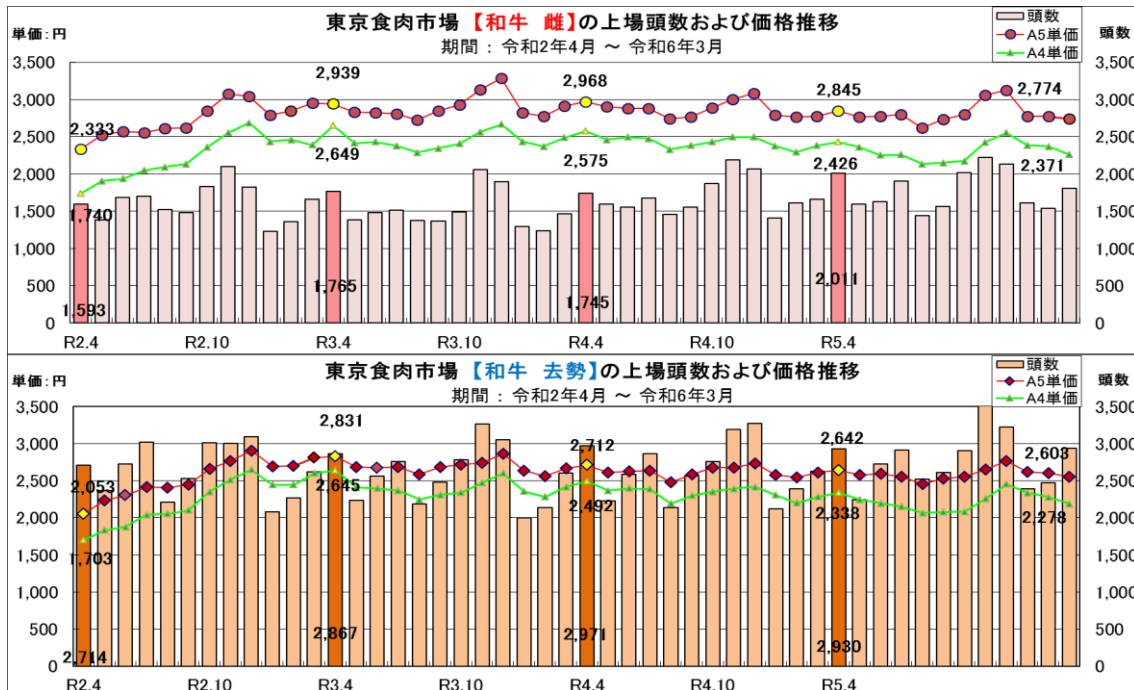
5月の相場は、底堅く推移すると予想される。

全農建値（税抜）予測レンジは550円～600円とする。

肉牛インフォメーション（3月）

● 3月の動向

上旬は概ねもちあい、特に交雑牛の引き合いの強さが継続し、等級間の価格差が縮まった。3月は決算月の企業が多いこともあり、中旬に入ると、和牛交雑ともに下げに転じた。



● 4月の動向予測

GWに向けた手当て買いなどで、上旬および中旬にかけては上げ基調になることが予想されるが、消費者の節約志向から畜種を切り替える動きもあることから、手当て買いの落着く下旬頃には相場も下がる見込み。

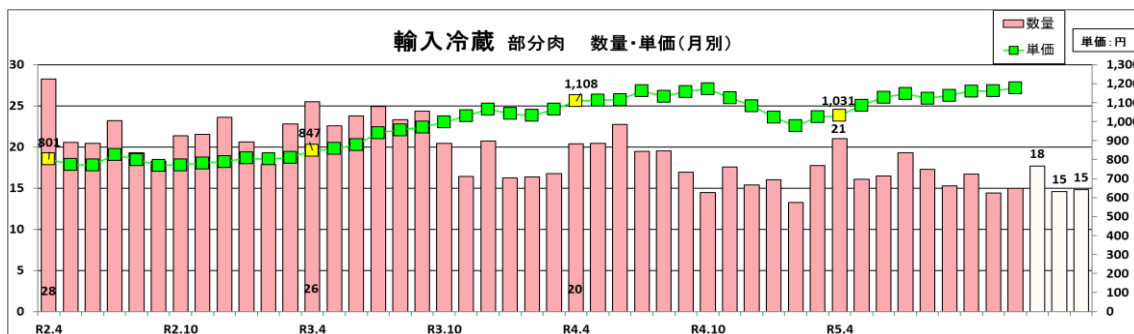
4月相場は「もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,500 円（税込み） A4 等級 2,400 円（税込み）

交雑去勢 B4 等級 1,600 円（税込み） B3 等級 1,550 円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要は低迷下にある中、現地相場の高騰等による米国産輸入量の大幅な減少も見込まれること等から、3月はかなりの程度、4月は大幅に、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する
(ALIC 牛肉の需要予測について 3月27日)



食肉インフォメーション（3月）

●3月の動向

○牛肉

小売各社では合格祝いなどで一部荷動きが良い店舗もあったが、引き続き量販店を中心に厳しい販売となった。比較的安価なスソ物の販売は堅調だった一方、ロースやヒレ等的高级部位は厳しい展開となった。また、月の上旬はこれまでの暖冬傾向から変わって気温の低い日が続いたことから、モモ・バラの販売が好調な展開となり、交雑牛では一部品不足となった店舗もみられた。

○豚肉

上旬は気温が下がったこともあり、鍋物需要の増加からバラやロイン系の販売が好調となったが、物価高による消費者の節約志向は強く、安価なウデやモモなどのスソ物に需要が集まった。

●4月の動向予測

○牛肉

4月上旬には入学式等の祝い事が増え、高級部位も動きやすい時期となる。また月後半にはGWを控え、天候に左右される前提ではあるが、外食需要にも期待がもてる時期である。しかし、肉食については、昨年からの食品全般の値上げ影響により、スソ物中心の展開が予想される。

○豚肉

新年度となる4月は、入学式や歓迎会などのイベントの他、下旬にはGWも控えており、外食需要の増加からロイン系を含めた中部位の販売増加が期待される。また、物価高騰の影響から、比較的安価なウデ・モモなどのスソ物については堅調な動きが予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年2月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度2月	12,311	12,370	12,537	21,014	15,741	10,073	4,465	88,511
令和4年度2月	10,961	10,888	7,517	21,980	18,092	8,803	6,557	84,798
令和5年度2月	12,162	10,253	9,077	29,915	16,953	10,241	5,570	94,171
増減（R5-R4）	1,201	-635	1,560	7,935	-1,139	1,438	-987	9,373
対比（R3/R5）	99%	83%	72%	142%	108%	102%	125%	106%
対比（R4/R5）	111%	94%	121%	136%	94%	116%	85%	111%